

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ

第76号

平成27年2月1日

発行 学校法人 東京聖徳学園 〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)



聖徳学園ホームページ

http://www.seitoku.jp/

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園

# 聖徳フラッシュ SEITOKU FLASH

## 第25回 台北国際マラソン大会 6位入賞!



理事長先生へ入賞の報告 左から2人目が菅生晶子さん

12月21日(日)、台湾台北市で開催された「第25回台北国際マラソン大会」において、本学陸上競技部の菅生晶子さん(人間栄養学科2年)が、2時間46分15秒の自己新記録を達成し、6位入賞を果たしました。今回、菅生さんは、ちばアクアラインマラソン成績優秀者(フルマラソン女子優勝)として千葉県教委より派遣され、見事にその期待に応えました。

フルマラソン出場者は5317名、うち女子の部は470名。1~5位はケニアの国際招待選手であり、6位入賞はアジアの女子トップの快挙です。

菅生さんは、11月9日(日)に開催された第30回東日本女子駅伝競走大会でも千葉県代表に選抜され、最長区間のアンカーを務め、8位入賞に大きく貢献しています。今後益々の活躍が期待されます。

## 「日光いろは坂女子駅伝」に出場 嶋田美里さんは区間7位

11月30日(日)、第1回「日光いろは坂女子駅伝大会」が開催され、聖徳大学陸上競技部が出場しました。急勾配の難所が続くコースを6人の選手が襷をつなぎ、14チーム中12位(1時間42分41秒)でフィニッシュしました。

アンカーを務めた嶋田美里さん(人文学部心理学科4年)は学生最後の駅伝で区間順位チーム最高の7位の快走でゴールを駆け抜け、花道を飾りました。



笑顔でゴールするキャプテンの嶋田美里さん

- 1区 坪井千奈美さん(3年)
- 2区 菅生晶子さん(2年)
- 3区 岡本悠里さん(1年)
- 4区 木下沙織さん(1年)
- 5区 大貫美織さん(2年)
- 6区 嶋田美里さん(4年)

## 人鳴門教育大学と聖徳大学に関する協定書



握手を交わす田中雄三鳴門教育大学長(左)と川並弘純聖徳大学長

### 聖徳大学と鳴門教育大学が連携協力協定を締結

聖徳大学と国立大学法人鳴門教育大学(徳島県鳴門市)の連携協定締結式が十二月十五日(月)、本学で行われ、教育研究・芸術文化・スポーツの分野における連携協力協定を締結しました。式典には、鳴門教育大学から田中雄三学長、西園芳信理事・副学長、山下一夫理事・副学長等が出席、本学からは川並弘純学長、増井三夫副学長、辻正行大学事務局長等が出席しました。鳴門教育大学との交流は、七月二日(水)に開催された「教員養成モデルカリキュラム(学士課程)の試行的実践と改善」と題するシンポジウムにさかのぼり、当日は、鳴門教育大学の教員二名による本学児童学部部の学生を対象にした公開授業(鳴門教育大学で開発された教科専門科目について)も行われました。



講演する森次郎氏

聖徳大学と鳴門教育大学との連携協定に期待する「教員養成に於ける私立大学と国立大学の役割」が行われました。以後、両大学の強みを生かして、教員養成の在り方に関して先導的研究開発を共同で進める予定です。式典に先立ち、この連携協定の締結を記念して、森次郎氏(文部科学省高等教育局大学振興課 教員養成企画室室長補佐)による講演会「聖徳大学と鳴門教育大学との連携協定に期待する」が行われました。

INDEX	
幼稚園	1
小学校	2
中学校	3
高等学校	4
大学	5
大学院	6
附属女子中・高	7
附属女子中・高	8
取手聖徳女子中・高	6
幼稚園	7
インフォメーション	8

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

### ISO 9001 (教育の質マネジメントシステム) ISO 14001 (環境マネジメントシステム)

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。

### 平成27年度採用 公務員試験合格者速報

(平成27年1月20日現在)

今年も多くの現役生が夢を実現しています

<b>【小学校教諭】現役生 42名 合格!!</b> ◆東京都15名 ◆千葉県10名 ◆埼玉県7名 ◆茨城県3名 ◆青森県1名 ◆福島県1名 ◆栃木県1名 ◆新潟県1名 ◆沖縄県1名 ◆さいたま市1名 ◆横浜市1名	<b>【特別支援学校教諭】現役生 2名 合格!!</b> ◆東京都2名	<b>【栄養教諭】現役生 1名 合格!!</b> ◆茨城県1名
<b>【養護教諭】現役生 5名 合格!!</b> ◆東京都1名 ◆埼玉県1名 ◆福島県1名 ◆宮崎県1名 ◆横浜市1名	<b>【中学校・高等学校教諭】現役生 1名 合格!!</b> ◆東京都 中・高(家庭) 1名	
<b>【公立幼稚園教諭】現役生 7名 合格!!</b> ◆東京都特別区: 3名 ◆千葉県 山武市: 1名(幼保一括採用) ◆埼玉県 久喜市: 1名(幼保一括採用) ◆茨城県 筑西市: 1名(幼保一括採用)、土浦市: 1名(幼保一括採用)		
<b>【公立保育士】現役生 164名 合格!!</b>		
<b>◆東京都</b> 大島町役場1名、葛飾区16名、北区1名、江東区6名、品川区10名、渋谷区6名、杉並区2名、墨田区3名、世田谷区7名、中野区1名、府中市1名、文京区1名、練馬区1名、目黒区6名、小計62名 <b>◆千葉県</b> 松戸市16名、市川市2名、市原市1名、印西市2名、浦安市4名、柏市8名、勝浦市1名、木更津市2名、千葉市16名、習志野市1名、成田市2名、船橋市12名、茂原市1名、八千代市2名、流山市1名、山武市1名、小計72名 <b>◆埼玉県</b> 上尾市1名、春日部市1名、川口市2名、久喜市2名、鴻巣市1名、越谷市1名、さいたま市4名、幸手市1名、狭山市1名、草加市1名、八潮市1名、小計16名 <b>◆茨城県</b> 筑西市1名、土浦市1名、小計2名 <b>◆岩手県</b> 二戸市1名、小計1名 <b>◆福島県</b> 福島県1名、いわき市1名、三春町1名、小計3名 <b>◆群馬県</b> 館林市1名、小計1名 <b>◆長野県</b> 佐久市1名、茅野市1名、小計2名	<b>◆宮城県</b> 岩沼市1名、小計1名 <b>◆山形県</b> 天童市1名、小計1名 <b>◆栃木県</b> 佐野市1名、小計1名 <b>◆山梨県</b> 富士吉田市1名、小計1名 <b>◆静岡県</b> 富士市1名、小計1名	
<b>【その他公務員】現役生 9名 合格!!</b> ◆航空自衛隊 1名 ◆陸上自衛隊(音楽隊) 1名 ◆茨城県警察(警察官) 1名 ◆千葉県警察(警察官) 1名 ◆船橋市(栄養士) 1名 ◆鎌ヶ谷市(管理栄養士) 1名 ◆小美玉市(管理栄養士) 1名 ◆春日部市(事務) 1名 ◆石岡市(一般事務) 1名		

### 元聖徳大学教授 辻英子先生が「日本学賞」受賞

聖徳大学に昭和六十一年四月から平成二十四年三月まで勤務された辻英子先生が、日本文化に関する優れた学術研究を顕彰する「日本学賞」(日本学基金主催)を受賞されました。

今回の受賞は、海外で所蔵されている日本の平安時代の絵巻物を掘り起こして研究し、写真とともに国内に伝えた業績などが評価されて贈られたものです。



### 後期クリーンプロジェクトを実施!



落ち葉拾いの様子

聖徳大学学生会では、毎年、大学内外における環境美化活動として、クリーンプロジェクトを実施しています。プロジェクトは主にクリーン大作戦(学外清掃)、学内美化、エコキャップ運動の三つで構成されています。クリーン大作戦では、十二月一日(月)から五日(金)、八日(月)から十二日(金)、大学・短大一年生の協力のもと、大学周辺の落ち葉拾い



ポスター制作の様子

エコキャップ運動では、学内に設置したペットボトルキャップ用の回収ボックスに集まったキャップを、業者を経由してワクチンに

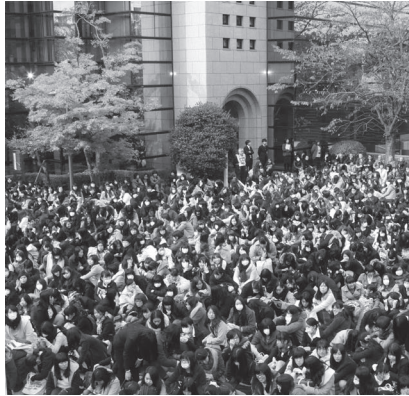
### 《後期キャップ回収報告》

今年度後期、学生会では、多くの方のご協力により、回収したペットボトルキャップを、リサイクルメーカーを経由して、72.5本のワクチンに換えて発展途上国の子どもたちへ届けました。

・回収個数**62,350**個 [456kgのCO<sub>2</sub>削減となりました。]

換え、発展途上国の子どもたちへ寄付しました。ペットボトルキャップをリサイクルすることは、二酸化炭素の排出量を大幅に削減し、環境保全に貢献することにもなります。今後とも、毎日の学生生活の中で、学内をきれいに保つことを心掛け、常に清潔感あふれる大学キャンパスにするべく、活動を継続してまいります。

## 三千人以上が参加 平成二十六年年度聖徳大学消防・防災総合訓練



集合の様子

広場(中央広場)に集まり、その後安否確認が行われました。訓練開始から二十二分後に総勢三千八百八十三名の避難が完了しました。

十一月二十八日(金)、松戸キャンパスにて聖徳大学消防・防災総合訓練を実施しました。十二時五十五分に大きな揺れが発生したとの想定で非常放送が入り、訓練がスタートしました。各教室から学生や教職員が二列に整列しながらパチパチ

松戸市中央消防署副署長の池田喜代志氏は、かつての阪神淡路大震災や東日本大震災の厳寒な気候や当時の状況を引き合いに出しながら、訓練の反省すべき点を話されました。最後に学生に対し「これから先、園児を守る立場の方も多くいるため、常に高い危機意識を持って行動してほしい。



訓練内容について講評する池田喜代志副署長

皆さん自身が要救助者になるのではなく、園児や他者を救助する立場でいてほしい」という身の引き締まるお言葉をいただきました。また川並弘純災害対策本部長は、「訓練をただ『訓練』と思うのではなく、いつどこ



代表謝辞を述べる川並芳純校長

で災害が発生しても慌てず、済むよう準備しておくことが大切です。また本学の校舎は耐震上安全ですので、安心してキャンパスライフを送ってください」と述べました。その後、水の入った消火器を用いた消火体験があり、教職員と学生が参加しました。池田氏より、大声で助けを求めながら消火にあたる

第四十五回千葉県私学教育功労者表彰式が十二月六日(土)、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張(千葉市)にて行われ、本学園より五名の教員が、多年にわたる千葉県私学教育の振興・発展への功労者として表彰を受けました。

「備えあれば憂いなし」という言葉のとおり、同様の訓練に積極的に参加し、日頃より家族と災害時の決め事しておくことが重要です。いざという時でも冷静に安全を確認しながら行動できるように、今後も防災に對して高い意識付けを図ってまいります。

聖徳大学児童学部児童学科 教授 鈴木 由美  
聖徳大学文学部文学科 教授 伊藤 笏康  
聖徳大学附属女子高等学校 校長 川並 芳純  
聖徳大学附属女子高等学校 教諭 本田 勝教

### 創立60周年 記念式典 第45回 千葉県私学教育功労者表彰式典

公益財団法人千葉県私学教育振興財団

左より、伊藤笏康教授、鈴木由美教授、榊瑞希子教授、川並芳純校長、川並孝純学園事務局長

### 第三回 松戸白宇宙かぼちゃレシピコンテスト 人間栄養学部が部門優勝の快挙!

山崎直子・宇宙飛行士と宇宙を旅した、松戸産のかぼちゃ「松戸白宇宙かぼちゃ」を使用した、地域活性化のためのイベント「第三回松戸白宇宙かぼちゃレシピコンテスト」(主催:松戸白宇宙かぼちゃの会)が、十月二十五日(月)・二十六日(日)の二日間開催されました。イベントの中心である「ハロウィン&かぼちゃフェア二〇一四IN松戸」は二日目に開催され、今年度は「スイーツ部門」「クッキング部門」「スープ部門」の三部門に分かれ、レシピの公募が行われました。本学からは、人間栄養学部一年生を中心に、約二百三十名の学生が二部門(「スイーツ部門」「クッキング部門」)に応募しました。書類選考後、各部門五名



が本選調理審査出場者として抜擢されました。本学学生は、スイーツ部門四点、クッキング部門三点の計七点が本選への切符を手に入れました。本選当日は慣れない環境と緊張の中、懸命に作品作りに集中し、それぞれがふさわしい賞をいただきました。



www.nagomi-matsudo.net

クッキング部門では人間栄養学部一年生の白幡真理さんが見事優勝を果たしました。作品は「手作り生」と語りました。他六名も、市長賞や教育委員会賞など各賞を受賞しました。また、スイーツ部門より三名、クッキング部門より五名が奨励賞として表彰されました。学生たちの懸命な取り組みが、素晴らしい結果を生み、地域貢献に一役買うことができたよい機会でした。

集まった同窓生同士、楽しく旧交を温め、二年後の再会を約束して盛会に終了しました。十一月には神奈川県支部会、年が明けて一月には東京支部会も開催され、親睦を深めることができました。また、春期と秋期には在学学生支援のための学習ガイダンスと学生募集のための説明会を、事務局に協力いただき開催しました。平成二十七年度は役員・支部長研修会を開催する年となっており、夏期に開催を予定しています。同窓生の親睦、在学生への支援と共に、通信教育部と学園のさらなる発展に向け、聖和会も活動を続けてまいります。

### 通信教育部同窓会「聖和会」活動報告

本会は総会と役員・支部長研修会を年度により交互に開催しており、首都圏の支部においても支部会が開催されています。



聖和会は、本学通信教育部の短期大学部、大学、大学院の同窓会で、現在五千名の会員数で活動しています。



# 総合文化学科キャリアスタディ 第九回「BIOSOCIE地域活性化企画案」 コンペティションを開催



総合文化学科一年生が作成した地域活性化企画案コンペティションが、十二月十三日(土)に開催されました。この企画は二年生前期に実践・実行することを目指し立案したものです。松戸、小金の街を歩き、課題として人通りが少ない若者が少ない・高齢者が多いという共通点が見つかりました。地域の現状から活性化のために何が必要か、何ができるかを考えました。街の魅力をどう活かすかという観点から、地域を「食」から活性化する案、また高齢者や若者向けにガイドブックやアプリ、動画などを作成し、情報発信するなどのアイデアが示されました。

第一位に選ばれたのは製菓グループの「松戸市の魅力ある名所と和菓子」を私たちが発見・発信します!」というテーマで、小金を対象とした「自利と利他」の想いが街を変える」と「魅力あふれる「エコミュージアム・小金」のガイドブック」が二位に選ばれました。質疑応答も時間が足りなくなるほど活発であり、講評でも企画内容、プレゼンテーション技術が優れていること、また地域を知り、考えて実践した結果について、七月の最終報告会に期待していますと、嬉しい評価をいただきました。

## 語学教育センターだより

### 保育英検の学内受験が好スタート!

十一月十六日(日)に、聖徳大学における保育英検の学内受験が初めて行われました。

今回は受験者五十四名中、三十八名(四級一名、三級三十四名、二級三名)が合格し、全体で七割以上の合格率という好スタートとなりました。保育・幼児教育

### 3級テキスト(会話文)の例

It's nap time.  
I'll prepare a bedding.

お昼寝の時間よ。  
布団を用意するわね。

I'm not sleepy Yet!

まだ眠くないよ!



系に限らず、さまざまな学科・専攻の学生が受験したことが特徴的でした。保育英検は非常に実用的な英語を学ぶことができ、保育や幼児教育に携わる予定のない人にも役に立つものです。この機会に英語への苦手意識から解放され、英語がより身近なものになるよう願っています。

今後とも、語学教育センターでは、より多くの学生が英語を学ぶきっかけとして保育英検を受験し、結果を出せるよう、指導を充実させていきます。

## 聖徳ラーニングデザインセンターだより

### エントリーシート作成特訓中 ―問われるチームとしての活動成果―

聖徳ラーニングデザインセンターでは、「夢実現プロジェクト」と連携し、大学三年生、短期大学部一年生の就活のためのエントリーシート添削のほか、面接、グループ討議など、就活に関するアドバイスを行っています。

例年もっとも多い相談は、エントリーシートに関するものです。具体的には、エントリーシートに書くべきエピソードがない、文章を上手にまとめられない、志望する企業に向けての志望動機が書けないといった悩みが多く寄せられます。

そういった場合、学生の皆さんには、まずエントリーシートを書いてきてもらいます。そして、そのシートをもとに問題点、改善点を指摘し、再度書き直してもらいます。こうしたキャッチボールを一人の学生に対し、三〜五回程度、繰り返していきます。このプロセスを、毎週平均二十〜三十名の学生と取り組んでまいりました。そのほか、メールでの相談も多数受けております。



エントリーシートの添削指導風景

どのような企業であって、入社すればそれぞれの配属部門にて、チームで協力して部門目標達成のために取り組むわけですから、やはり学生時代におけるチームとしての活動成果は、選考にあたって大きな判断材料となります。

大学一・二年生の皆さんには、就活はまだまだ先のことと捉えられがちですが、チームとしての活動成果を問われることは避けられません。今のうちに何か一つ、打ち込めるものを見つけ、取り組んでみてはいかがでしょうか。

聖徳ラーニングデザインセンターでは、大学一・二年生の皆さんの相談も随時受け付けています。卒業後のキャリア形成に関して分からないこと、不安なことがあれば、ぜひ当センターまで足を運んでみてください。

### 「テーブルマナーを学ぶ会」を開催

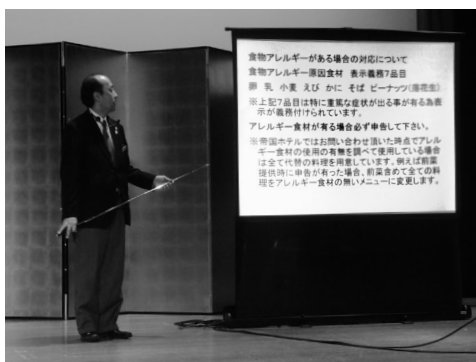
「フランス料理会食とテーブルマナーを学ぶ会」が、十二月二日(火)、帝国ホテル「富士の間」で開催されました。この会は、人間栄養学四年生と短期大学部総合文化学科二年生を対象とした科目「聖徳教育II」の一環として行われました。

会の目的は、来春の卒業を控えた学生たちが社会に出て仕事をするにあたり、公式行事などで美しく立ち居振る舞い、他人に不愉快な思いをさせないように、正しいマナーを身に付けることです。

本学客員教授でもある帝国ホテル総料理長・田中健一郎先生からメニューの説明があった後、いよいよ料理が運ばれてきました。マナー講師は、いくつもの関連資格を持つホテルマンです。

フルコースの料理をいただく間、講師の先生方は、椅子の座り方や乾杯の仕方から始まって、すべての場面でのマナーを懇切丁寧に説明してくださいました。また、随所に西洋料理の文化史なども織り込んで、新たな勉強になりました。

こうして、二時間半は瞬く間に過ぎ、学生たちはおいしい料理を堪能し、かつマナーを身に付け、満足して帰途についたのでした。



### ハワイアンダンス同好会が 本場のフラレッスンを体験

本学協定校のハワイ大学より、レファ先生ご夫妻、イナ先生、佐藤さんを先生が十二月十日(水)に本学を来訪され、本学ハワイアンダンス同好会の学生七名がフラダンスの特別レッスンを受けました。

各自パウスカートと履いて整列した学生は、フラには欠かせないイプ(イプヘケ)と呼ばれるひょうたんをくりぬいて作られた打楽器に合わせ、まずは基本の足の動かし方から手ほどきを受けました。レファ



先生のイプの音色に合わせて、イナ先生が手本を見せ、学生

が真似をします。次に上半身、手の動かし方を習い、最後に楽曲に合わせて踊りました。

レファ先生は、「自分の内面を表現するのがフラ。ただ型通り動くのではなく、気持ちが伝わるように踊ることが大切」と言い、例えば香りを嗅ぐというしぐさ(動き)のときには、本当に香りを嗅いでいると感じて、それを表現するよう、指導されています。そして、繰り返して「笑顔で!」と呼びかけていました。

二限および昼休みを利用した短時間でのレッスンでしたが、学生たちは少しずつ自信を付け、動きが滑らかになっていきました。本場のフラダンスを習う好機に恵まれ、大喜びの学生たちでした。



# 聖徳大学オーブンアカデミー(SOA)

## 秋期公開講演会・演奏会を開催

爽やかな秋空に恵まれた十一月二十二日(土)、聖徳大学オーブンアカデミー(SOA)の秋期公開講演会および演奏会「村岡花子・赤毛のアン」をめぐり文学と音楽の世界」を、香順メディアホールにて行いました。地域の皆さまをはじめ多くの方にご来場いただき、当初は一講演の予定が、二講演を行うほどの大盛況となりました。

講演では、「赤毛のアン」をめぐり人々」と題し、本学児童学部講師の村岡裕子先生が登壇しました。冒頭の映画上映でのアンが登場シーンでは、一気に「赤毛の



村岡裕子講師

アン」の世界に引き込まれ、続く講演でも村岡先生は優しい語りかけで、作者のL・M・モンゴメリや翻訳者である村岡花子さんのエピソードを解説しました。

後半のミニコンサートでは、本学音楽学部教授の山本まり子先生の案内のもと、「悲しみの水辺」(The Water's Wide)や「スコットランド民謡を中心に「赤毛のアン」が書かれた十九世紀に作られた、本学園所蔵クナーベ社製スクエアピアノの音色が披露されました。本学短期大学部講師の春日保人先生の美



ミニコンサートの様子(春日保人先生/Br. 鳥井俊之先生/pf)

しいバリトンの響きと本学音楽学部教授の鳥井俊之先生が奏でるピアノが重なり合い、皆、美しい音色に耳を傾けました。

芸術の秋にふさわしい、実りのある素晴らしい講演会および演奏会となりました。

## 学寮スポーツ大会を開催

平成二十六年十二月七日(日)、本学体育館において、第二十三回学寮スポーツ大会を行いました。本大会は、各寮がスポーツを通して交流を深め、寮生活をさらに充実したものとすることを目的として、毎年開催されております。

今年も寮生の発案により、バレーボール、バスケットボール、長縄跳び、玉入れ、リレー、計五種類の競技種目を実施し、運動が苦手な人でも楽しめるような、バラエティに富んだ内容になりました。その甲斐あって、今年も多く寮生が参加し、例年にも増して熱い戦いを繰り広げました。

なかでも最終競技のリレーでは、熱烈な声援が飛び交うなかで、各寮選抜の



寮見寮寮 心士風寮 和富香順 順位234 優勝第第

二十名が華麗な走りを披露してくれました。また、大会終了後の恒例の抽選会では、大いに盛り上がりました。

本大会を通してより深まった「寮の和」が今後の寮生活に生かされ、寮生の大きな成長の一助となることを願ってやみません。

## 危険情報とそれを伝える言語

研究所リレー連載

所長の伝言板 第26回 聖徳大学言語文化研究所長

私たちの生活はいつも危険と隣り合わせ、というより、私たちはいわば危険の中で生活しているといった方が正確かもしれません。環境汚染、自然災害、薬害、事故、危険食品等々、世の中は私たちが脅かす危険に満ちあふれています。

そのような危険から身を守るには、正しい情報と対処法を知ることが第一です。その危険情報を伝えるのは主として「ことば」でしょう。危険を知り、それに対処する方法を学ぶための主要な手段が言語だということになります。

そういう考えから、言語文化研究所は「危険情報と



所長 林 史典

それを伝える言語」をテーマにした講演会を重点活動の一つにしています。東日本大震災が起きた二〇一一年には、人間栄養学部の林徹先生に「食品の放射能汚染と健康」という講演を二回にわたってお願いしました。八月の豪雨で広島市に大きな被害が発生した昨年、十一月十五日に気象庁総務部防災担当参事官の横山博さんに「気象災害から身を守るー情報を知り、活かすー」

## 八潮こども夢大学修了式

### 川並学長が出席

十二月二十五日(木)、「八潮こども夢大学」の修了式が八潮メッセで行われました。当日は、第一期となる平成二十六年年度修了生(児童)三十三名のうち二十八名と保護者、大山忍・同大学長(市長)、石黒貢・同副学長(教育長)など市行政・教委関係者や各小教頭が出席。本学からは川並弘純学長、吉田眞言大学事務局参加が来賓として招かれました。

受講生一人ひとりに修了証書が授与された後、大山学長は「今回の体験を生かして新たな目標に向かい、八潮を担う立派な大人になっしてほしい」と式辞を贈りました。



来賓挨拶に立った川並学長は、「知識は、ただ得るだけでなく経験を多く積むほど本物に近づきます。小六の誰もができることではない今回の貴重な経験は、皆さん自身の夢に関することだけでなくさまざまなことに目を向けられるようにして自分の可能性を広げたいと思います」と述べ、関係者に感謝の意を表しました。

式後の記念撮影では、修了生や保



八潮こども夢大学 修了式

## コスモス文庫への寄贈が行われました

十二月九日(火)、本学において、青柳俊一千葉興業銀行頭取から中野沙恵川並弘昭記念図書館長に「コスモス文庫」への寄贈が行われました。



左から 京増好一千葉興銀松戸支店長、青柳俊一千葉興銀頭取、中野沙恵図書館長、川並弘純理事長

コスモス文庫は千葉興業銀行と袖ヶ浦興業株式会社との寄付によって運営され、聖徳大学川並弘昭記念図書館の「こども図書館」内に設置し、備えられた絵本や児童書は学生、教員、園児など多くの利用者が閲覧します。

千葉興業銀行と本学短期大学部は、産学連携協定によって学生のアイデアを商品化し、聖徳祭(学園祭)で「千産千商」として販売するなど、コスモス文庫以外にもさまざまな分野にわたり協力しています。

### お知らせ

#### 聖徳大学言語文化研究所主催 国際比較言語文化論シンポジウム

テーマ：『身体名詞とその用法』  
日本語・英語・フランス語・中国語・韓国語

日時：平成27年2月14日(土) 13:00~15:00  
会場：聖徳大学10号館12階  
定員：70名(参加費無料・事前申込不要)

パネラー：林 史典(聖徳大学言語文化研究所長)  
ピーター・ヴィンセント(聖徳大学語学教育センター教授)  
アラン・メドゥズ(聖徳大学語学教育センター准教授)  
クリスティアン・ブティエ(聖徳大学人文学部英米文化学科准教授)  
李 哲権(聖徳大学文学部文学科准教授)  
森 貞美(聖徳大学児童学部児童学科准教授)

司会：北村 弘明(聖徳大学言語文化研究所教授)

というお話をしていたいただきました。大量の貴重な資料に基づく、とても有意義なご講演でした。

言語文化研究所は、これからも実生活に必要な重要な情報を発信し続けます。ご注目ください。



「東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金」寄付者芳名一覧

平成二十六年十一月〜十二月「寄付分」

ご協力ありがとうございます

Table listing donors and amounts for the 80th anniversary fund. Includes categories like '取引業者関係', '大学後援会関係', '聖徳大学関係', etc.

（注）公開をご希望されない方については、掲載しておりません。コンビニエンスストアよりお振込みされた方は、匿名の取り扱いにさせていただきます。ご芳名の掲載をご希望される方は、お手数ですが創立八十周年記念事業募金係までご連絡ください。平成二十六年十一月一日から十二月三十一日までの寄付分を掲載しております。

幼児教育専門学校の第五十八回グループ研究発表会を開催

十二月十四日(日)、幼児教育専門学校の伝統行事の一つである「グループ研究発表会」を開催しました。

この発表会は、保育表現研究発表会と並び、本学園における重要な研究発表会の一つです。学生の持つ能力の可能性を引き出し、指導教員の適切な指導を受けながら、一つのテーマについて納得のいくまで探求していくことを目的としています。

今回の発表会では、専門学校十六グループ、短期大学部三グループを四つの分科会に分けて発表が行われ、



幼児教育の現場で活かせる社会人になってほしいと願っています。

「保育問題」「児童文化」「障害児保育」「多文化理解」「表現」など、さまざまな研究領域において幅広く多彩なテーマが提起されました。

質疑応答では、学生から多くの質問が飛び交う熱気あふれるものとなりました。発表会に参加した後輩の学生たちには、今後の勉強を進めていく上で大いに参考になったことでしょう。

まもなく卒業を迎える発表学生には、今回のグループ研究で得た知識や経験を、

附属女子中学校・高等学校

バトン部 全国大会出場

バトン部部长 附属女子高等学校三年 小岩井 映里

九月の県大会から始まり、十一月の関東大会へ千葉県代表として出場しました。一都五県の各代表合計二十八校中、十四校が関東地区代表として全国大会へ臨みました。



附属中学校バトン部

十二月の幕張メッセでの全国大会では、北海道から沖縄県までの中学校十六校、高校四十二校が出場し、聖徳バトン部は中高共に銀賞を頂くことができました。今年一年、常に全国大会へ出場することを目標として活動してきたので、中学生は二年連続出場、高校生としては四年振りの全国大会出場、特に中高共に出場できたことがとても嬉しく思います。団体演技であるバトンを通じて、学年の枠を超え、同じ目標を持つ仲間がいるのはとても大きい力となりました。

泣いたり、笑ったり、怒ったりと共に過ごした時間は、

かけがえのない時間となり、確かな「絆」を生んだと思います。顧問の黒澤先生、長岡先生をはじめ、ご指導してくださるコーチ、保護者の方々の支えがあるからこそ、このように活動ができるのだと思います。これからも感謝の気持ちを忘れず、心も身体も成長していくよう全員で目標に向かって日々精進していきたいと思っております。



附属高等学校バトン部

小笠原敬承斎先生の特別授業

去る十一月四日(火)、高校三年生を対象に、小笠原流礼法御宗家小笠原敬承斎先生の授業が行われました。



小笠原敬承斎先生

受講している高校三年生の中には、小笠原流礼法を附属小学校から十二年間学んでいる生徒もおります。これまでに何度も御宗家の授業を受けてはいますが、御宗家から直接お話を伺えるのはこれが最後という気がしたり、笑ったり、泣いたり、怒ったりと共に過ごした時間は、待と自覚を持ってもらい、新たな生活を送る上で不安を解消する大切な機会です。新入生が安心して、子どもにとってはじめての先生になるという希望をより強くもって入学してもらえよう、教職員一同これからも熱意をもって指導してまいります。



### 取手聖徳女子中学校・高等学校

## 平成二十六年茨城県 牛乳・乳製品利用料理 コンクールに出場



那須美玲さんと作品のミルクプリン

平成二十六年茨城県牛乳・乳製品利用料理コンクールに、高等学校二年の那須美玲さんが出場しました。那須さんのコメントをご紹介します。  
.....  
書類審査を通過し、十月

## 音楽科・音楽コース 第二十七回定期演奏会を開催

十月十一日(土)、牛久市エスカード生涯学習センター・エスカードホールにて、昨年の演奏会よりもはるかに多くのお客様をお迎えし、音楽科・音楽コースによる第二十七回定期演奏会を開催しました。  
今回の演奏会は、本校創立三十周年を迎えた記念すべき年度の演奏会でもあります。ステージでは充実した素晴らしい演奏が続き、生徒たちの音楽に対する真剣な取り組みと熱意が、今年も見事に披露されました。プログラムは、夏休み中に実施された独奏・独唱者選抜のオーディションに合



格した十三名の演奏と、中学三年生から高校三年生による女声合唱、そして最後に音楽科・音楽コース生徒全員による合唱で構成されました。最後の全員合唱では、浅野祥子先生指揮のもと「今日から明日へ」を合唱し、若々しく美しい声が会場いっぱい響き渡り、ご来場いただいた多くの皆様方よりご高評を仰ぐことができました。  
今後も生徒・教員全員で音楽科・音楽コースの活動をより活発にさらに盛り上げ、多くの仲間を迎え入れたいと思います。

### 附属小学校

## 力を尽くした マラソン大会

「茨城らしさ」を出しつつ、乳製品をうまく活用できるようにと考え、茨城県の特産である蓮根を使ったミルクプリンを作りました。学校での練習では、放課後や休日も先生につきっきりで特訓をしていただきました。特に、プリンの食感を滑らかにしたり、蓮根の風味が強くなりすぎないようにゼラチンの量を調節したりするの苦労しました。  
コンクール当日は練習の成果を十分に発揮することができました。また、普段の学校生活では学ぶことのできない、料理の盛りつけ方や配色に対する配慮、段取りの仕方など、たくさんの方を身につけることができたと思います。「料理」の実力は女性として、将来必ず役に立ちます。今回学んだことを将来に生かせれば、と思っています。

附属小学校では毎年マラソン大会を行っています。今年度はマラソン練習は天候に恵まれず、附属女子中学校・高等学校のグラウンドを借りて行う試走が各学年ともなかなかできなかったため、本番はどうなってしまうのだろうと、子どもたちも教員も不安で仕方ありませんでした。  
しかし、みんなの願いが届いたのか、当日はなんとか雨も降らずに決行することができました。一年生は、初めて一キロメートルほどを走り、完走したことをお互いに喜び合っていました。二年生は、自分が所属する明和班の子が走っている最中、一生懸命応援する姿が見られ、たいへん微笑ましかったです。  
三年生は、昨年度よりも距離が伸びたうえ、コースの確認が一回しかできませんでしたが、どの子も走り切る姿が立派でした。四年生は身体も少し大きくなってきたので、トップ争いが白熱し、見ていて胸が熱くなりました。



全力で駆ける子どもたち

幼稚園八王子中央幼稚園  
表現あそび  
一年の締めくくりに  
幼稚園に入園・進級してさまざまなことを経験してきた子どもたちのまとめとなる発表会が「表現あそび」です。  
幼稚園では昔ながらの童謡を大切にしており、園歌と共に全学年で歌います。その後、年長児によるサカホーンの発表と、名曲に合わせた合奏を行います。迫力のある演奏にたくさんの拍手をいただきます。  
未就園児(ちゅうりっぷ組)の子どもたちは初めて舞台上立ち、衣装を着てかわいらしく遊戯を披露します。年少児は、一学期の発表では舞台上立つことを恥

ずかしがる子どもや、なかなか踊らない子どももいますが、表現あそびでは友達と一緒に楽しみながら舞台上で初めましての楽器あそびの発表も行います。  
年長児は幼稚園生活最後の発表会となります。ピアノに合わせて歌いながら、踊りや台詞を交えたオペレッタをお客様の前で堂々と演じたり、音楽に合わせて役の気持ちもつかんで踊ったりできるようにします。  
一学期に行われた生活発表会よりも自信を持って舞台上立つ姿をご覧になった保護者の方から、子どもの成長した姿、舞台上の上で



一生懸命にお遊戯を披露

聖徳学園三田幼稚園  
一日入園  
新入園児を迎えて  
三田幼稚園では、四月から幼稚園に入る子どもたちを招待して、毎年二月に「一日入園」を行っています。  
一日入園当日は、年長組の子どもたち一人ひとりが、迎え入れから会の進行、お土産渡しなどの係について、新入園児を迎えます。受付ではプログラムを渡し、靴を履きかえた小さなお友達を会場へ案内します。恥ずかしがってお母様の陰に隠れてしまうお友達に一生懸命声を掛けたり、優しく手を引く光景が毎年見られます。



手をつないで迎え入れ

お兄さん、お姉さんと踊ることができて嬉しい子どもも、なかなかお母様と離れられずに一緒に踊る子どもも、反応はさまざまですが、年長児は小さな子どもたちの目線に合わせて話しかけたり、優しく手をとったりしながら一生懸命関わっています。先生たちによる劇を見て、最後にお土産を渡し、会は終了します。  
新入園児にとっては、四月から幼稚園へ通うことへの期待が高まる一日となり、在園児にとっでは進級すること、そして小さなお友達を迎え入れることへの期待が高まる一日となります。小さなお友達への思いやりの気持ちを育てる環境づくりを、大切にしていきたいと思っています。



### 聖徳学園多摩中央幼稚園 出動！見まわり隊！

多摩中央幼稚園ではグループ活動を大切にしています。とりわけ、松組(年長組)になると、友達と協力する力がついてくるため、グループ活動が盛んになります。中でも当番活動は子どもたちが大好きで「やった！今日は給食当番だ！」今日は園庭の見まわりだから早く片付けたいとね！と言って毎日張り切っています。エプロンと三角巾をつけて行う給食当番のほか、「見まわり隊」と称し、年少組や年中組の部屋の整理整頓、エックや、園庭に片付け忘れたおもちゃがないかの確認作業などを順番に行っています。



みんなで給食当番

給食当番は子どもたちには人気で、「お母さんみたいだね！」と言いながらエプロンをつけ、嬉しそうに行っています。見まわりをした後の「報告」も、初めは難しくなかなか言葉が出てこない姿がありました。少しずつ慣れてきて、今では年少組や年中組の園児達の前に立ち、「廊下の椅子がぐちゃぐちゃでした」「水道の水が少し出てました。きちんと水を止めてください」と、一人ひとりが報告できるようになりました。

単なる「お手伝い」ではなく、幼稚園の中で一番の年長者としての責任感も芽生えているようです。堂々とした松組さんの姿を見て、年少組や年中組の園児が「自分も早く見まわり隊をやりたいな」と憧れる姿も見られました。

### 聖徳大学附属幼稚園 ウミガメが 幼稚園にやってきた！ ウミガメ移動教室

十一月二十一日(金)、附属幼稚園にとっても珍しいお客様が来ました。アカウミガメが四匹も遊びに来たのです。

これは鴨川シーワールドが「ウミガメ移動教室」と称し、自然保護に関する教育普及活動の一環として、アカウミガメと共に飼育員が訪問し、話をしてくれるという活動です。飼育員の方からウミガメの保護活動を通じて得られた情報や生態を分かりやすく



大きなカメに興味津々

今回の活動は、自然保護の大切さ、命の尊さを知る良い経験となったことでしょう。今後もさまざまな生き物とのふれあいを通し、園児たちの好奇心を育てていきたいと思えます。

解説していただき、生まれて三カ月の子ガメと、一歳、二歳のカメを観察することができました。園児たちはカメを目の前にし「小さい赤ちゃんガメ、かわいいね」「大きいカメの甲羅、すごいね」と大興奮。

五歳児松組は実際にカメに触る機会をいただき、そわそわしながら順番待ちをしていました。喜んで手を出しカメを撫でる園児や、おつかなびつくりそつと触る園児などさまざまでした。いざ触ってみると「甲羅は固いけど首や足は柔らかいんだね」などと友達と話す声が聞かれました。最後は大人のカメラのパネルと背比べ。松組の園児たちと良い勝負となりました。

### 聖徳大学附属浦安幼稚園 いきいき子育て 公開親学講座 〜歌って学ぼう〜

十二月一日(月)、「いきいき子育て」体験！発見！子どもと共に学ぶ無料公開親学講座」の第八回目が当園ホールにて行われました。今回のテーマは「歌って学ぼう」。親子でふれあい歌ったり、リズムに乗って踊ってみようという内容です。講師には聖徳大学短期大学部保育科の小畑秀樹先生と中野真紀子先生をお招きし、親子で楽しめる講座内容とあつてか総勢七十八名の保護者の方が参加され、賑やかなムードの中で、講座がスタートしました。まず最初に小畑先生によ



歌に踊りに、親子で大賑わい

る「さんぽ」の伴奏が始まると、子どもたちも元気に歌い始めました。続いて中野先生が曲に合わせて踊りをするので、子どもたちも一緒にさま動きを真似し、楽しそうに表現をする様子が見られました。

最後は「あわてんぼうのサンタクロース」の曲に合わせて歌いながら鈴を鳴らし、クリスマス心を待ちにしつつ、歌と踊りで熱気に包まれた講座は終了しました。

### 聖徳大学附属成田幼稚園 七園合同研究保育 を終えて

附属七園が毎年輪番で行っている七園合同研究保育が、十月二十九日(水)に附属成田幼稚園で行われました。



思い思いに作品をつくる園児たち

四歳児は「働く車作り」、五歳児は「ゴムを使ったおもちゃ作り」と分け、それぞれ公開保育を行いました。当日、園児たちはたくさん先生の話を前に恥ずかしくしたり、喜んで制作遊びをしていました。午後は、研究の

「子どもが遊びたくなる環境の工夫」製作あそびを通して「というテーマで約二年をかけた、保育科の永井妙子先生にご指導をいただきながら、研究を進めてまいりました。満三歳児は「製作の初歩的活動」、三歳児は「はさみを使った活動」、

経過を話し、製作遊びについて参加した教員間で協議会を行い、大学の先生方にも講評をいただきました。今回の研究保育を通して、園児たちがさまざまな技術を習得したり、友達関係を深める環境づくりについての理解が深まりました。また、教師自身も教材研究を重ね、保育室の環境設定や教材の準備、教師の助言や援助の仕方について学ぶことができました。

現在、手先を使った遊びの経験が減り、テレビゲームなど既製のおもちゃで遊ぶ経験が少ない子どもが増えています。これからは、様々な活動を通して、園児たちがたくさん体験を通して成長発達していけるよう、保育の研究を続けていきたいと思います。

### 聖徳大学附属第二幼稚園 元気一杯！ メリークリスマス

十二月十六日(火)、きらきらと輝くイルミネーションやモールドが飾られたホールで、附属第二幼稚園のクリスマス会が行われました。幼稚園の玄関に大きなクリスマスツリーと一緒に飾られたプレゼントの箱を見つめた園児たちは「サンタさん、本当に来てくれるかなあ？」と期待を高めながら、この日を迎えました。



サンタさんがソリに乗って登場！

その目は輝きます。一人ずつ握手をしてもらおうと「サンタさん、プレゼントあります」とお礼を言おうと見られ、クリスマス会の由来について理解を深めたり、日頃の挨拶が自然にできたりと、日々の保育の積み重ねも感じられた一日となりました。

園長先生に「クリスマス会の由来についてお話をさせていただきます。初めは「クリスマスおめでとうございます」の言葉に「ありがたうございます」と言っていた幼児たちも「おめでとうございませう」と返せるようになり、クリスマスについて理解を深めたようでした。

そして、神様のお使いの天使様に「自分で考える子どもになります」「静かな気持ちで話を聞きます」「優しい気持ちで友達と遊びます」「友達と仲良く遊びます」と誓い、満三歳児のパンダ組はみんなで「くっくく」と「魔法の扉」を踊りました。四歳児梅組は「赤鼻のトナカイ」の曲に合わせて二人組や一人組の大きな円になり、隊形変化を楽しみながら踊りました。五歳児松組は「ウサギ野原のクリスマス」の歌や「アメリカンパトロール」の合奏をしました。その様子を見ていたパンダ組や梅組の幼児は、楽器を叩く真似をし始め、一緒に合奏を楽しんでいるようでした。



# 平成27年度 入試日程

## 聖徳大学大学院通学課程 [共学/昼・夜開講] (専門職学位課程) (教職研究科)

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
内部推薦入試 一般入試 社会人特別入試 現職教員特別入試 教職大学院連携協力校(園) 特別奨学入試	C	1月26日(月)~ 2月10日(火)	2月15日(日)
	D	2月23日(月)~ 3月11日(水)	3月15日(日)

### 〈博士後期課程〉

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
内部推薦入試 一般入試 社会人入試 研究生入試	C	1月26日(月)~ 2月 5日(木)	2月15日(日) ※ただし音楽文化研究科は 2月14日(土)・15日(日) ※研究生は2月14日(土)のみ

### 〈博士前期課程〉

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
内部推薦入試 一般入試 社会人特別入試 研究生入試 (留学生除く)	C	1月26日(月)~ 2月10日(火)	2月15日(日) ※ただし音楽文化研究科は 2月14日(土)・15日(日) ※研究生は2月14日(土)のみ
私費留学生特別入試 研究生(留学生)入試	C	1月26日(月)~ 2月 5日(木)	2月15日(日) ※ただし音楽文化研究科は 2月14日(土)・15日(日)

## 聖徳大学児童学部(女子)/心理・福祉学部(女子)/ 文学部(女子)/人間栄養学部(女子)/音楽学部(女子)/ 聖徳大学短期大学部(女子)

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
特別奨学学生入試 (科目試験方式)	全学		2月11日(水・祝)
特別奨学学生入試 (センター試験方式)	全学	郵送 12月24日(水)~ 2月 5日(木) 窓口 1月 7日(水)~ 2月 5日(木)	2月11日(水・祝)面接のみ ※文学部文学科普通文化コース、 音楽学部は上記に加え実技等も実施
全学全学科統一入試 (科目試験方式)			2月11日(水・祝)・12日(木) のうちの希望日 ※地区・ターミナル試験場は 2月11日(水・祝)のみ
全学全学科統一入試 (センター試験方式)			本学個別学力試験なし ※ただし音楽学部の実技等のみ 2月11日(水・祝)・12日(木)のうちの希望日
一般入試	B	2月 9日(月)~ 2月23日(日)	2月26日(木)・27日(金) のうちの希望日
センター試験入試			本学個別学力試験なし ※ただし音楽学部の実技等のみ 2月26日(木)・27日(金)のうちの希望日
一般入試	C	2月25日(水)~ 3月 9日(月)	3月12日(木)・13日(金) のうちの希望日
センター試験入試	C	2月25日(水)~ 3月12日(木) ※ただし音楽学部のみ 3月9日(月)まで	本学個別学力試験なし ※ただし音楽学部の実技等のみ 3月12日(木)・13日(金)のうちの希望日
音楽学部 演奏学科・音楽総合学科 実技特別選抜入試		3月 2日(月)~ 3月16日(月)	3月18日(水)
帰国子女特別入試 社会人特別入試 (アスリート・セカンドキャリア支援) 特別奨学推薦入試 (アスリート・サポート) 特別奨学推薦入試	C	2月25日(水)~ 3月 9日(月)	3月12日(木)
私費留学生特別入試 私費留学生特別奨学学生入試	C	2月25日(水)~ 3月 5日(木)	3月12日(木)

## 聖徳大学看護学部(女子)

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
特別奨学学生入試(科目試験方式)	全学		2月11日(水・祝)
特別奨学学生入試(センター試験方式)	全学		2月11日(水・祝)面接のみ
全学全学科統一入試 (科目試験方式)		郵送 12月24日(水)~ 2月 5日(木) 窓口 1月 7日(水)~ 2月 5日(木)	2月11日(水・祝)・12日(木) のうちのどちらか一日のみ選択 ※地区試験場は2月11日(水・祝)のみ
全学全学科統一入試(センター試験方式)			2月11日(水・祝)・12日(木) のうちのどちらか一日のみ選択
一般入試	C	2月25日(水)~ 3月 9日(月)	3月12日(木)・13日(金) のうちのどちらか一日のみ選択
センター試験入試			3月12日(木)・13日(金) のうちのどちらか一日のみ選択 面接のみ
地区試験場 (会場: 仙台、新潟)	全学	郵送 12月24日(水)~ 2月 5日(木) 窓口 1月 7日(水)~ 2月 5日(木)	2月11日(水・祝)

## 聖徳大学児童学部(女子)/心理・福祉学部(女子)/文学部(女子)/人間栄養学部(女子)編入学、聖徳大学短期大学部専攻科(女子)

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
内部推薦入試、一般入試、 学士入試、社会人特別入試、 (アスリート・セカンドキャリア支援) 特別奨学推薦入試	C	2月 9日(月)~ 2月23日(日)	2月27日(金)
一般入試、学士入試、 社会人特別入試、(アスリート・ セカンドキャリア支援)特別奨学推薦入試	D	2月25日(水)~ 3月 9日(月)	3月12日(木)

## 聖徳大学幼児教育専門学校(女子) (前期・後期入試)

入試区分	日程	願書受付期間	入試日
AO入試、指定校推薦入試、 公募推薦入試、保育科・保育 コース推薦入試、保育所 幼稚園園長推薦入試、同窓 会推薦入試、大学生・短大生 (含専修学校)特別入試、社会 人特別入試	後期 C	2月 2日(月)~ 2月19日(木)	2月21日(土)
	D	2月23日(月)~ 3月12日(木)	3月14日(土)

## 聖徳大学附属女子中学校・高等学校

対象	入試区分	願書受付期間	入試日
中学	第3回入試	1月 6日(火)~ 入試日当日	2月 4日(木)

# 学校説明会関係行事のご案内

※詳細につきましては、各校・園にお問い合わせください。

- 聖徳大学(女子)・聖徳大学短期大学部(女子) ●お問い合わせ: 0120-66-5531 (直通)  
オープンキャンパス ★学食無料体験あり ▶3月22日[日] 10:30~14:00 聖徳大学 松戸キャンパス  
※学校見学も随時実施!(日・祝除く)
- 聖徳大学幼児教育専門学校(女子) ●お問い合わせ: 03-5476-8811 (代)  
星のオープンキャンパス ▶2月 7日[土] 10:00~12:00 ※学校見学も随時実施!(日・祝除く)

- 聖徳大学附属女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ: 0800-800-8442 (入試広報室直通)  
入試報告会(中学校) ▶2月21日[土] 10:00~11:30
- 聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校 ●お問い合わせ: 0297-83-8111 (代)  
小・4・小5児童、中1・中2生徒、保護者対象 学校説明会 ▶2月21日[土] 10:00~14:00 ※会食(昼食)体験あり
- 聖徳大学附属小学校(共学) ●お問い合わせ: 047-392-3111 (代)  
夜のミニ講演会 聖徳大学10号館 ▶2月5日[木] 19:00~20:00  
▶2月6日[金] 19:00~20:00

## 通信教育部(共学) 平成27年度4月生募集 お問い合わせ047-365-1200(直通)

通信教育部では、平成27年度4月生の募集を開始しています。ぜひこの機会に、働きながら免許や資格が取得できる通信教育にチャレンジしてみませんか。北海道から九州まで、全国各地で説明会を実施しております。

### 4月生 願書受付期間

- ▶大学・短大  
~4月30日(木)【必着】  
※書類選考のみ
- ▶大学院(博士前期課程)  
~2月24日(火)【必着】  
※3月1日(日)試験

- 聖徳大学大学院 通信教育課程
  - 児童学研究科 児童学専攻  
(博士前期課程/博士後期課程)
- 聖徳大学 通信教育部
  - 児童学部
    - 児童学科 幼稚園教育コース/  
児童保育コース/児童教育コース
  - 心理・福祉学部
    - 心理学科 臨床心理コース/家族心理コース/  
社会心理コース
    - 社会福祉学科 社会福祉コース/  
精神保健福祉コース/養護教諭コース
  - 文学部
    - 文学科 英語・英文学コース/日本語・日本文学  
コース/歴史文化コース/書道文化コース/  
キャリアコミュニケーションコース/  
図書館情報コース
- 聖徳大学短期大学部 通信教育部
  - 保育科

## 聖徳大学主催入学説明会 ※参加申込不要 ※入場無料

開催日	開催地	開催時間	開催場所
3/15(日)	本学キャンパス松戸	13:00~15:30	聖徳大学松戸キャンパス1号館
3/28(土)	大宮	13:30~16:00	大宮ソニックシティ6階 601号室
	静岡	13:30~16:00	JR静岡駅パルシェ7階 第1会議室
3/29(日)	千葉	11:30~14:00	パーディーホテル千葉2階 会議室
	東京	13:30~16:00	東京国際フォーラムガラス棟6階 G602室
4/4(土)	つくば	11:30~14:00	イーアスつくば2階 イーアスホールB
4/5(日)	本学キャンパス松戸	13:00~15:30	聖徳大学松戸キャンパス1号館

## 春期合同入学説明会 ※参加申込不要 ※入場無料

開催日	開催地	開催時間	開催場所
2/1(日)	東京	11:00~16:00	東京国際フォーラム ホールB7
2/7(土)	横浜	12:00~17:00	横浜新都市ビル(そごう)9階 新都市ホール
	岡山	12:00~17:00	山陽新聞社ビル9階 大会議室
2/8(日)	大阪	11:00~16:00	梅田スカイビルタワーウエスト10階
2/14(土)	さいたま	12:00~17:00	大宮ソニックシティB1階 第1展示場
	名古屋	12:00~17:00	ウインクあいち愛知県産業労働センター7階
2/15(日)	東京	11:00~16:00	新宿エルタワー30階
2/21(土)	札幌	12:00~17:00	アスティ45ビル16階 会議・研修施設ACU
	大阪	12:00~17:00	梅田スカイビルタワーウエスト10階
2/22(日)	名古屋	11:00~16:00	ウインクあいち愛知県産業労働センター7階
	福岡	11:00~16:00	JR博多シティ9階 九州ホール

## 【講演会のお知らせ】

### 聖徳大学児童学研究所主催

# 第9回 子どもの発達シンポジウム すべての赤ちゃんが幸せに育つために

日時: 2/28(土) 13:00~16:30  
会場: 聖徳大学10号館14階  
主催: 聖徳大学児童学研究所  
後援: 松戸市教育委員会、市川市教育委員会、柏市教育委員会、取手市教育委員会  
定員: 80名(無料、事前申込不要)

講師: 仁志田 博司 (東京女子医科大学名誉教授・前東京女子医科大学母子総合医療センター長)  
小口 弘毅 (おぐちこどもクリニック院長・前北里大学医学部小児科講師)  
萬屋 育子 (愛知教育大学教職大学院特任教授・元愛知県児童相談所長・児童福祉司)

内容: 乳児期の子どもをテーマに、3人の専門家にご講演いただきます。  
仁志田先生には子どもの正常な発達について、小口先生には障害を持った子どもの育児について、萬屋先生には生まれずに生まれてきた子どもの最良な育児は何かを、特別養子縁組制度愛知方式を中心にお話をさせていただきます。  
すべての赤ちゃんが幸せに育つために、今、私たちに求められていることは何かを考えたいと思います。

■お問い合わせ先/聖徳大学児童学研究所(知財戦略課) Tel:047-365-1111(大代表)

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート **かすがの森** 長野県佐久市春日2258-1

一般9,400円~のところ  
学生・教職員 5,800円~  
卒業生・家族・同伴者 8,600円~  
※上記宿泊料金は3月31日までとなります。

ご予約・お問い合わせは  
現地フロント係が承ります。  
お気軽にお電話ください!  
TEL. 0267-52-2111


詳細はホームページでご確認ください。 <http://www.kasuganomori.com>

「信州そば」プレゼント

今年1月から3月までの期間内にご宿泊いただいたお客様に信州限定の生そばをプレゼントいたします。

1予約につき1バック

お土産にも最適な長野県産のそば粉を使用した挽きぐるみそばです。そばつゆ付ですので、ゆでればすぐに食べられます。また、そば湯も飲みますので、そばのおいしさを存分にお楽しみください。



読者の声 ご意見・ご感想の宛て先  
学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。  
今後も内容の充実に努めてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。  
(郵送) 〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園「聖徳フラッシュ」係まで  
(インターネット) <https://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/frmpub>

学校法人 **東京聖徳学園** 聖徳フラッシュ 第76号  
発行人/川並 弘純 編集/総務課

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28  
TEL.03-5476-8811(代)

PRINTED WITH SOY INK. この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。  
15.2.1 re (19.2)